

総合計画市民検討協議会 第2回報告書（健康・福祉部会）

記録者	菅原 香理	場所	市役所北庁舎第1～3会議室	
開催日時	平成24年2月4日（土） 午前9時30分 ～ 正午			
出席者 （11名）	菅野 修逸	木田 幹郎	齊藤 真弓	鈴木 麻理絵
	山田 眞津美	横手 喜美子	渡邊 有子	
	川村 昂史	木佐貫 博之	菅原 香理	中村 允彦
傍聴者	0名（ ）			

1. 基本構想の見直しについて

見直しの視点	<ul style="list-style-type: none"> ●「第1回市民検討協議会のまとめ資料」を確認した上での追加意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念として「歴史あるまちづくり」を重視してほしい。 ・ 「人間性の尊重」という表現が難しいので、例えば「相手の立場に立ってふれあう」など、分かりやすい表現に言換えてほしい。 ●まちづくりの主な課題に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に、書いていることが漠然としていて分かりにくいので、子供が読んでもわかるくらい詳しく書いた方が良い。 【テーマ1：少子高齢化への対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今書かれている課題は、今後も継続して課題となると思う。 ・ 少子化対策と高齢化対策は、解決しなければいけない課題や問題も異なっているため、別々に取扱ったほうがよいのではないか（多数意見） ・ 「重圧感」や「負担感」といった表現は、子育てをしている立場からすれば、少しマイナスイメージが強すぎるので言換えた方が良い。府中市は近隣市に比べると子育てしやすいまちでもある。 ・ 子育てをしやすい環境の整備が必要ではないか（保育所のさらなる拡充や子育てヘルパー制度の充実など） ・ 医療に関する課題についても盛り込んだ方が良い。 ・ 近年は高齢者でも働ける方がたくさんいるので、高齢者の就業環境の充実も課題といえるのではないか。 ・ 高齢者が亡くなるまで自分らしくいきいきと生活できるよう、幸福感の持続が課題。 ・ 高齢者を介護する側へのサポートやケアについても課題といえるのでは。 ・ 認知症の予防について盛り込んでほしい。
--------	---

【テーマ2：コミュニティにおける参加と支え合い】

- ・ ここでの「地域」とは具体的に何を指すのかが分からない（ご近所なのか、町内会なのか、市全体なのか？）
- ・ 府中市には転入者が多いが、古くからの住人と新しい住人のコミュニティには差があるものと思われる。
- ・ 新旧住民の交流や世代間の交流がうまくいっていないように感じるので、そこが課題。
- ・ 「人づくり」というキーワードを盛り込んでもらいたい。
- ・ 無関心な方や、関心があっても参加できない方へのPR・周知が課題。
- ・ 魅力的なコミュニティ作りをしないと、誰にも参加してもらえないので、コミュニティのあり方の検討も課題である。

●土地利用に関する意見

- ・ 災害時の土地利用については、多くの方が関心を持っていると思われるので、項目を一つ増やすくらい大きく取扱ってほしい。
- ・ 近年、新しいマンションの建設が相次いでいるが、マンションの増加に伴う歴史的景観や自然への影響について、取扱ってほしい。
- ・ 工業については触れられていないが、土地利用はバランスも重要だと思うので、工業についても考えてほしい。
- ・ 「魅力あふれる市街地」という表現をもう少し詳しい表現に変えた方が良い。（人が集まるまち、というイメージ）